

平成30年 第4回議会定例会
30年度一般会計補正(第2号・3号)可決
総額72億604万円に

30年 第4回議会定例会は9月3日から21日までの19日間にわたって開催されました。町側より29年度町総合開発公社事業及び決算の報告、30年度一般会計補正予算2号・3号、介護保険特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、条例の制定1件、工事請負契約の締結1件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分1件、29年度一般会計ほか7特別会計等の決算、専決処分の報告1件、人事案件(教育委員会委員の任命、人権擁護委員の候補者の推薦)4件が提案され、いずれも受理、可決、認定、同意しました。

陳情は3件のうち1件は採択、2件は趣旨採択としました。1件は委員会提出の意見書を、1件は議員提出の意見書を可決しました。一般質問は、5・6日に行われ、8人の議員が登壇、町政への質問・提案を繰り返しました。

第114号
平成30年10月25日(2018)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 西 宗亮
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穩3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



コミュニティバス有償運行に

30年度一般会計補正予算(第2号)

補正(2号)は歳入歳出それぞれ5901万円を追加しました。寄附金では湯ノ原3組の阿藤新一氏より500万円の寄附をいただきました。これにより、楽ちんバス運行は現在の1台体制から2台になり1台にかかる負担を軽減できるようになります。

歳出の空き店舗等活用事業補助金では、湯田中駅前新店舗が開店される予定です。県スキー大会週間負担金では、31年1月に志賀高原で開催される大会への支出です。

歳入の主なもの

普通交付税 2億4145万円

寄附金 500万円

町債 2268万円

繰入金 △2億1365万円

歳出の主なもの

町単林道整備 330万円

空き店舗等活用事業補助金 250万円

道路維持費 1653万円

県スキー大会週間負担金 200万円

10月1日より有償運行になった楽ちんバスの出発式



もくじ

第4回定例会関連記事……………14

一般質問……………16

議会全員協議会・議会報告会お知らせ……………25

みなさんからの請願・陳情……………26

決算審査関連記事……………28

平成29年度決算監査意見……………30

みんなの広場・編集後記……………31

補正(第3号)災害復旧費

台風21号にともなう補正で歳入歳出それぞれ、197万円を追加しました。主なものは、林道・町道整備、町民住宅・小中学校校舎修繕、倒木処理などです。

歳入の主なもの

基金繰入金 197万円

町道横湯地獄谷線

33万円

町民住宅修繕

32万円

旧北小学校

17万円

中学校

32万円

よませ保育園倒木処理

12万円

歳出の主なもの

林道整備 50万円

12万円



台風21号により被災した林道

条例の制定

コミュニティバス運行に関する条例の制定

日常生活に必要な交通手段の確保のため、1年間実施してきた実証運行から道路運送法の市町村運営有償運送に切り替える。1人1回の運賃は100円、回数利用券11枚つづり1組1000円、24枚つづり1組2000円とするなど。

水道事業会計未処分利益剰余金の処分

地方公営企業法の規定により29年度分1億936万円のうち3100万円を資本金に組み入れるものです。

工事請負契約の締結

やまびこ広場リノベーション親水施設工事を指名競争入札により、60

42万円で平穩土建株式会社との契約の締結を賛成多数で可決しました。



来春の完成を目指し、工事が進む親水施設イメージ

反対討論

渡辺 正男

2月27日の議会全員協議会で町側は、改修計画についての観光関係者等への説明会で14人、子育て関係者説明会では5人に説明、と参加者数を明らかにした上で「実施設計後に町民に説明した

い」と答弁したが、されていない。夢の公園となる構想を期待したが、そうならない。中途半端な改修計画は、町民の幅広い理解を得ているとは言い難い。関係者等への説明責任も含め再検討を求めたい。

専決処分の報告

自動車損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定

湯田中駅構内設置のグレーチングを町所有の塵芥収集車が損壊したため1万9440円を支払う。

人事案件

教育委員会委員の任命
山本 均

(任期は4年間。前任者の任期満了による)
鏡堂

人権擁護委員の候補者の推薦

小山内 明美

湯河原1

山本 喜美子

角間

秋元 繁一

下須賀川

(任期は3年間。前任者の任期満了による)

ズバリここが知りたい

論戦 猛暑対策、志賀草津高原ルート、教育 など

9月5日、6日の2日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は8人、傍聴者は21人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	 湯本 晴彦	<ul style="list-style-type: none"> ・志賀草津高原ルート閉鎖による観光業への影響について ・親水公園計画について ・空き家問題について
②	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑から町民の命を守るために ・国民健康保険特別会計の現状と今後の見通しは ・福祉医療制度の拡充を ・小中学校のスキー関連組織の再構築にどう取り組むか
③	 山本 良一	<ul style="list-style-type: none"> ・志賀草津高原ルートについて ・ロマン美術館について ・イノベーション戦略プランについて
④	 高山 祐一	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全のまちづくりについて
⑤	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・町内3小学校の猛暑対策と衛生施設環境について ・保育士の職務について ・町内クロスカントリー選手の育成環境について
⑥	 児玉 信治	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・公民館活動について ・選挙について ・国土調査について ・農政について ・教育施設・保育園について ・夜間瀬川河床の整備について ・最低賃金引き上げについて
⑦	 望月 貞明	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育・保育環境について ・健康増進、福祉について ・自然災害への備えについて
⑧	 布施谷裕泉	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を踏まえた地域存続への活路および活性化施策について ・第6次山ノ内町行政改革大綱 実施計画について ・教育及び保育環境の改善・拡充に向けて

親水公園建設の目的は

町長一子どもが気軽に水遊びを楽しめること

やまびこ広場 再開発

質問 町内の子どもたちの遊び場としてなのか、観光利用とするのか。

観光商工課長 以前釣り大会やつかみ取りのイベントがあり、町内の子どもたちにとっては、とても良かった。観光客にも地元にも喜ばれる形式が良い。

質問 昨年提案したホテルなどの名所という考えは。

観光商工課長 噴水をライトアップしたり、氷柱をライトアップするなどインスタ映えする場所にもできると思う。

質問 リノベーションの狙いは。

町長 そもそも子どもたちや若者が利用できないかというところで始まった。幅広



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

※ 温泉ガストロノミーリズム：温泉地には、温泉以外にも郷土料理や地酒、独自の文化などがあり、その土地ならではの食や自然・文化を巡りながらのしむ旅のこと。欧米で普及しているガストロノミーリズムに温泉をプラスした。



看板が強風で飛んだ空きホテル

い世代、住民、観光客が利用できるように進めたい。

自然に頼らない 観光は

質問 天候などに左右されない観光地づくりの具体案はあるか。

観光商工課長 アウトレットなどを誘致できればいい

が、この町の売りは自然なので、それらを一層PRしていきたい。

質問 自然頼みだと、道路が閉鎖、雪が少ない、猿が来ないなど、われわれにはどうすることもできない。自然とは関係ない魅力づくりとして、街並みや景観づくり、食文化はどうか。

観光商工課長 街並みや景観づくり、食文化はどうか。

空き家対策

観光商工課長 街の景観は天候が悪くても見られる点で賛同できる。食はおいしい果物や酒蔵もある。食べて飲んで温泉に入って、この町の文化を見て歩く温泉ガストロノミーリズムも計画中。

質問 かねてから、某空きホテルに猿が住みついたり、壁が落ちてくるなど問題を指摘してきた。今回台風が強風によりその空きホテルから看板が落下し、隣のホテルの屋根に突き刺さるといふ大惨事が起きた。空き家調査をしているうちに時間だけが経っていないか。

建設水道課長 特に危険な状態の空き家は個別に指導、通知した。

質問 今回の被害は、前から危険な状態を指摘したにもかかわらず、放置したという責任はないのか。

建設水道課長 基本的に所有者が適正に管理するもの。町では費用負担を簡単にはできない。

質問 湯田中はまちづくり会社があらわれて、不動産の流通が進んだ。空き家対策はまちづくりそのもの。その意味で、流通を促進する機関や組織を考えていくのは。

町長 ひとつの方法として十分検討してみたい。

質問 町の再開発で切り離せないのが観光。観光振興は雇用や移住も増やす。将来を見据えた総合的な開発計画を。

遠きをはかる者は
富み、近くをはか
る者は貧す

湯本晴彦のつぶやき

命にかかわるほどの猛暑にどう対応したか

町長―熱中症予防・対処法の広報につとめた



わたなべ まさお
渡辺 正男

今夏の猛暑の実態と対応は

町長 昨年7月の平均気温は24・1℃だったが、今年

は25・8℃。8月は23・9℃だったのが24・6℃と高かった。熱中症などの救急搬送例は、昨年7〜8月軽症が1件のみだったが、今年には軽症が6件、中等症が3件の計9件発生した。こまめな水分補給と扇風機やエアコンで暑さを避けるようチラシなどで広報した。

質問 学校、保育園や高齢者世帯での対応は。

教育長 学校では、扇風機をフル稼働し、遮光ネット



エアコンのある教室
(福島県郡山市湖南小学校)

やよしずを設置するなど、暑さを軽減しながら児童生徒の体調管理に気を配り、水筒の持参を呼びかけて熱中症を防ぐようにした。特

健康福祉課長 保育園では、に西日の当たる教室の環境は厳しく、涼しい教室に場所を移して授業を行う工夫もした。

園庭での外遊びを日よけの下で行うようにしたり、室内では複数の扇風機を使用したり、エアコンのある部屋に移動したりしながら熱中症予防に当たってきた。

教育次長 7月17日、東小の図書室が37℃になった。

質問 全てにエアコンを整備したら予算はおよそいくらかかるか。

学校や保育園の全室にエアコン整備を

質問 今後の猛暑対策は。

教育長 中学校については、今年度長寿命命化工事で普通教室にエアコンを整備する

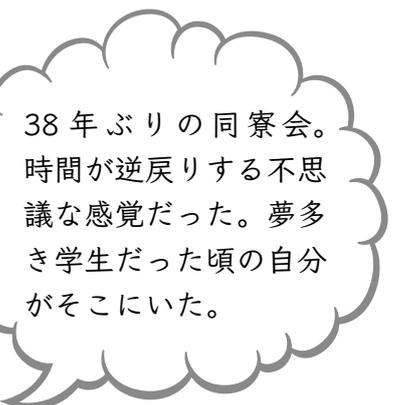
健康福祉課長 5保育園で総額約4000万円との概算見積もりになっている。

小学校については町長から指示があったので、整備計画を立て、計画的にエアコンを整備していく。

質問 国・県の補助制度はまだ不確定だが、全国的に整備できないことも考えられる。優先順位を明確にして計画的に整備を進めていただきたい。

質問 今年の猛暑は、命にかかわるような日が続いた。

健康福祉課長 保育園でも来年度からの実施計画に計上する。全保育園の保育室



38年ぶりの同僚会。時間が逆戻りする不思議な感覚だった。夢多き学生だった頃の自分がそこにいた。

渡辺正男のつぶやき

志賀草津高原ルート開通の見通しは

町長—白根山は火山性地震が1日10回未満2週間継続が条件

【質問】 先日浅間山の火山性地震が1日30回未満になったから、レベル1に引き下げられたとのことだが。

【総務課長】 気象庁の基準は、一律に30回ではなく、浅間山だけのものと考えている。

交通規制の判断基準は

【質問】 気象庁がレベルを決める。同じ気象庁なのに基準は何だと疑問を感じる。

【観光商工課長】 嬭恋キャベツヒルクライムが、交通規制中の迂回路を全面通行止めにして開催されたが情報は得ていたか。

【観光商工課長】 嬭恋観光協会より全面通行止めにしてイベントを開催するのを聞いたのは、開催が決定して、エントリーも終了していた。その段階で中止を求めるとは無理だった。



やまもと りょういち
山本 良一



嬭恋キャベツヒルクライム2018 (参加者約1000人)
主催者HPより



志賀ヒルクライムスタート予定地
数千人の参加が期待される



通行規制看板

イベントによる道路使用許可基準は

【質問】 直接担当者に「迂回路は」と質問をしたが、通常の道路があるからとの回答だった。それでいいのか。

【観光商工課長】 万座ハイウェイは自動車専用道路で、途中からの乗り降りができない道路。群馬県が長野県への迂回路としていたのは、鳥居峠を通り菅平なり上田に降りるルートが指定、周知されていた。

迂回路の判断は県により違うのか

【質問】 志賀高原でのヒルクライムを何年も前から陳情しているが許可にならない原因は何か。

【観光商工課長】

平成23年頃から志賀高原の関係者からヒルクライムの要望があり、道路管理者、公安委員会と協議してきたが理解が得られない。原因は、迂回路がないこと、有名な観光地を通過する幹線道路を通行止めにはできないとの回答だが、群馬県中之条町、また建設事務所などに相談、協議をしている。本年度も警察と3回協議してきたが回答は同様で、開催は難しい。

【質問】 どこからどこで、何時から何時までのプランか。

【観光商工課長】 全国でも稀な獲得標高が得られる上林から渋峠までで、時間については手元に資料がない。

【質問】 キャベツヒルクライムが、迂回路ありで許可されて、志賀草津が迂回路なしで許可されない理由はダブルスタンダードで理解できない。当町も同じ迂回路を持っているが、志賀草津は通行規制になっている。その日の朝の5時から8時の3時間だけを使う。各県警によって法律が変わってしまうような感じを受けるが。

【観光商工課長】 地元関係者からも、なぜ長野県はだめなんだという声もあるが、それぞれの置かれている状況や、有料の民間車道と一般道の違いかと思う。

【質問】 いい訳は色々言うと思うが、この例を出し交渉に当たっていただきたい。

※1 嬭恋キャベツヒルクライム：群馬県吾妻郡嬭恋村で万座ハイウェイを利用して行われる自転車ロードレース。コースはロング約20km標高差1010m、ショート約6km標高差350mで参加定員は2000人。

※2 獲得標高：自転車ヒルクライムコースの累積標高差の合計。

まず規制ありきではいかがなものか。どうすれば開催可能かを提案するのが観光立県のつとめでしょう。

山本良一のつぶやき

危険なブロック塀の点検は

教育長—PTAに協力依頼し危険箇所を把握する

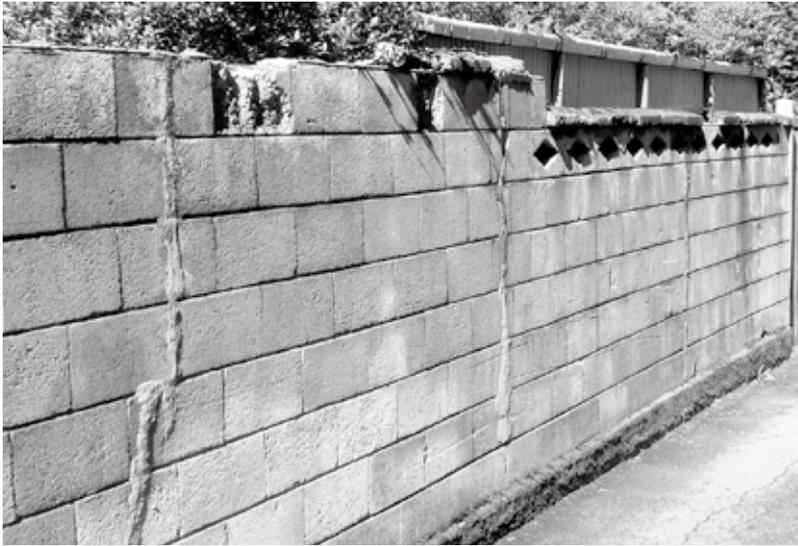


たかやま ゆういち
高山 祐一

点検の重要性を
感じるが

質問 6月の大阪北部地震で、小学校のブロック塀倒壊による女児死亡事故を受けて、町の対応は。

教育長 文科省、県教委より緊急点検の指示があったが、調査の結果学校敷地内に不適合なブロック塀はなかった。通学路についてはPTAを通じて、危険箇所の情報提供を依頼している。
質問 ブロック塀の中に鉄筋がしっかり入っているか確認できる点検器具の購入を小布施町は決定した。それによると、町で器具を2



危険と思われる東小通学路のブロック塀

台購入し、まずは公共施設、次に通学路、その後一般にも1日限定で、貸し付ける対策をとったということだが町の対応は。

建設水道課長 教育委員会の調査を踏まえて連携し、他市町村、建設事務所に聞いて検討していく。

教育次長 PTAの皆さんの協力のもと情報を呼びかけて、危険箇所の情報共有をはかっていく。

猛暑対策を

質問 今夏の猛暑を受けて、各地区指定避難所にクーラーの設置要望があるが、助成要綱の新設を。

危機管理室長 各地区が所有、あるいは管理する公会堂や集会所などは、ほとんど冷房機器が設置されてない状況であり、避難所として使用する際には、住民が安心して過ごすことができない環境にない。整備が必要と考える。緊急時の対応として、すぐ使用でき、工事の必要がなく、移動も可能なクーラーのレンタルなどを考えている。

町では、施設等整備事業補助金交付規程を定めているが、公会堂については新設、全面改築およびバリアフリー化が補助金対象である。今後、規程の見直しなど、地域の皆さんの意見を参考に検討する。

再編は喫緊の課題
質問 消防団再編の具体的な検討は。

消防課長 喫緊の課題と認識している。原案、素案については早急に検討し、現幹部、消防団幹部に相談する時期に来ていると考える。
質問 6月議会、児玉議員の質問で、飯綱町役場の自動車班のことは、承知しているが答えたが、それは現実にはどうなのか。

消防課長 実例が近隣の飯綱町、県内・全国の他市町村にも例があるので、可能性はあると考える。

ノーベル賞医学生理学賞
に本庶佑氏。
リフレッシュは、日曜日のゴルフ、家ではゴルフ番組をよく観ているという。素晴らしいノーベル賞受賞者だ。

高山祐一のつぶやき

小学校のエアコン設置、トイレ改修計画は

町長—エアコンは実施計画へ、トイレ改修は順次整備する

【質問】 町内3小学校の猛暑対策・学習環境状況をどう受け止めているか。

【教育長】 暑さで集中力低下や体力消耗する環境であった。対策として扇風機をフル稼働させ、遮光ネット・よじずの設置を行った。

【質問】 3小学校各教室内の冷房設備の現状は。

【教育長】 全小の保健室とパソコン室、東小の特別支援教室、南小の視聴覚室だけに設置されている。

学校のトイレの快適化を

【質問】 特に西小3・4年生用トイレに悪臭がある。3

小学校早期改修の対応を。
【教育長】 28年度に東小低学年用、30年度は西小低学年用と体育館トイレを改修。計画的に順次整備していきたい



とくたけ えいこ
徳竹 栄子



閉校後、きれいに改修されたすがかわ体育館のトイレ

保育士の行政職異動の中止を

【質問】 保育士は、児童福祉施設で保育を行うことが本分と考えるが。

【健康福祉課長】 研修が目的であるが、保育士は保育に係わる仕事をするのが本来

たい。
である。

【質問】 50代で事務職の若い職員と肩を並べての仕事はプレッシャーを感じ、次は私の番ではと不安とのこと。

【町長】 研修による人材育成が保育行政に活かせると思う。不安がないように今後配慮していく。

【健康福祉課長】 研修中は、ありがたい気持ちを持って十分サポートしていく。

クロスカントリー スキー選手育成環境の充実を

【質問】 旧北小学校のクロススキーコースは2kmだが、

保護者の思いは、選手の強化につながるため小・中学生がともに練習する5km以上のコースが必要。

【教育長】 組織全体の意見としジュニアスキー育成連絡協議会へつないでほしい。支援は今後も継続していく。

【質問】 旧北小学校には、グランド・体育館・クロスコースがある。その施設を活かし、クロススの拠点にしたと、地域や保護者は考えている。どのように考えるか。

【町長】 保護者の思いは理解した。協議会、教育委員会で十分検討していただき、方向性を定めていく。

【質問】 現在、北小空き施設利用検討協議会で検討中だが、施設の一部をクロス選手クラブハウスに提供する考えは。

【教育次長】 現在の体育館の小屋が使用不可になれば他の場所を検討する。旧北小学校内で可能かどうかは答弁できない。

【質問】 コース整備に使われている40年経過の圧雪車が壊れても、選手が練習できる環境づくりを今後も支援できるということか。

【教育次長】 今年度もコース整備の予算をつけ、協議会の総会で話していきたい。

スキーリゾートの明暗。白馬と野沢温泉の地価下落率は縮小、一方当町は、県内最大の下落率。なんとかしなければ。

徳竹栄子のつぶやき

新たな学びの場の創造を



こだま しんじ
児玉 信治

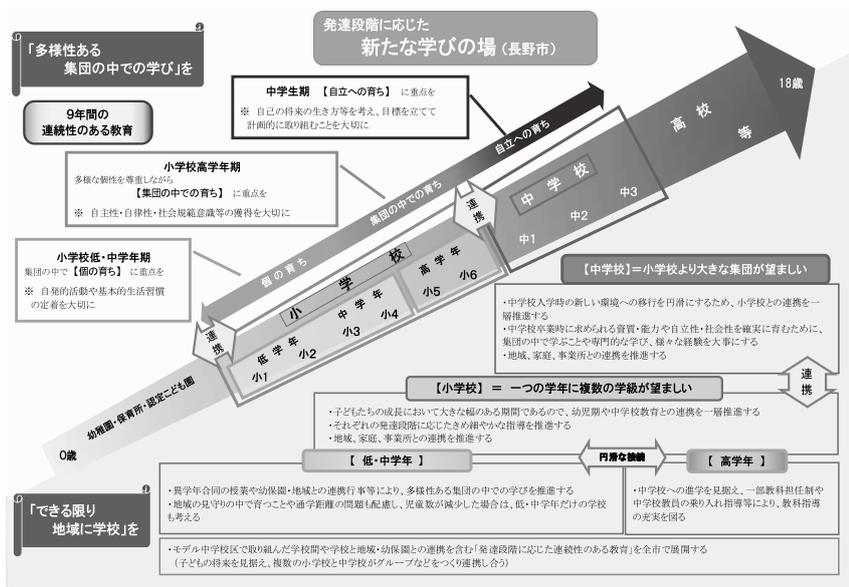
教育長—審議会の答申を尊重したい

教育について

質問 新教育長としての教育指針は。

教育長 少子化が進む中、グローバル化やIT化など、変化の激しい時代に生きる子どもたちの、生きる力を育む教育環境の充実をはかっていることが必要。また、ESDの推進や信州型コミュニティスクールの充実にも取り組んでいく。

質問 長野市教委の諮問機関が、小規模校存続か統合化かという二元論ではなく、地域の教育環境、子育て機能の維持、小規模校のメリットを残しながら、複数学級のメリットも追求した柔軟



長野市活力ある学校づくり検討委員会が長野市教委の諮問に対して答申したもの

軟な考え方を示した（写真参照）。それぞれ地域の課題を探り、子どもと地域の未来を見据えた教育のあり方を模索する地方自治体が各地であらわれている。考えは。

町長 現状は、適正規模適正配置等審議会での答申により、今日の方性を教育委員会と総合教育会議で確認している。基本的には子どもたちの教育環境を、どう整えるかである。今回の提案は小中一貫校を含め、教育委員会で十分検討していただければと思っている。

質問 今後、情勢の変化を重んじていきたい。

を踏まえ、教育委員会の中で統合問題について再度議論することが必要と思うが。

教育長 情報は常に共有して、教育委員会としては、常に子どもを真ん中に据えた考え方、そういう教育環境をどうしていくかということを最重点として進めていきたい。

河床整備について

質問 穂波大橋下から夜間瀬橋の間、樹木の繁茂がすさまじい。伐採要請を。

町長 夜間瀬川の河床整備の要望は、北信建設事務所長・県建設部長などへ関係者とともに再三要望を行っ

ホスピタリティ「親切なおもてなし」の語源は、病院である。ホスピタリティ「やまのうち」と役場名を改名したら。

児玉信治のつぶやき

ている。今年の11月に長野県で砂防工事を始めて100年になるのにもない県と国挙げて砂防100周年の記念事業が当町の文化センターで開催され、現地調査も行われる予定である。その際に要望を行っていく。

最低賃金について

質問 最低賃金の急激な値上げは小規模企業にとって死活問題である。行政と対応策はないか。

農林課長 今年は上げ幅が14年以降で最大を更新した経営状況が厳しい農業分野においての現場の生の声を国・県に届け、実情を理解してもらおうよう働きかけていく。

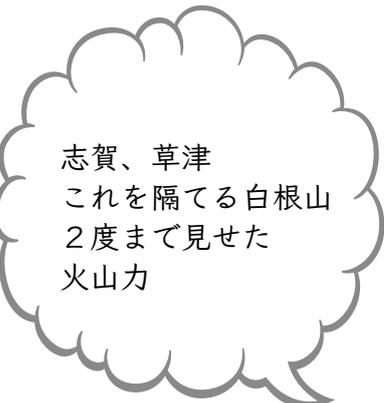
胃がん検診に胃カメラの選択を

健康福祉課長—中高医師会で導入を検討中



もちづき さだあき
望月 貞明

※ピロリ菌 ヒトなどの胃に生息する細菌。感染するとピロリ菌が分泌する毒素や酵素群により、胃の粘膜や上皮細胞が傷害され胃炎、胃潰瘍、胃がんの原因になるとされる。呉共済病院の上村先生の調査によると胃がん患者3161人の99.34%がピロリ菌感染者。



志賀、草津
これを隔てる白根山
2度まで見せた
火山力

望月貞明のつぶやき

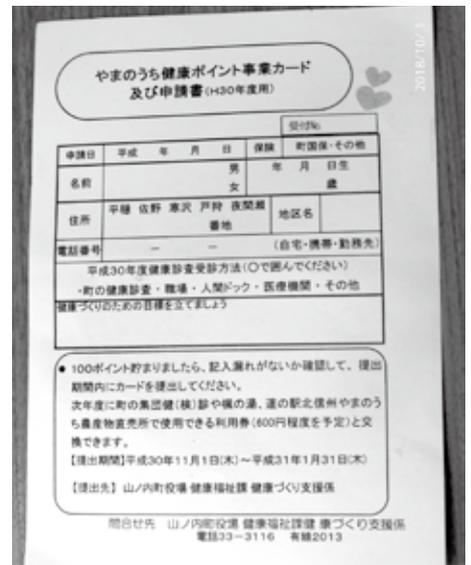
【質問】 町の胃がん検診はバリウム×線撮影だ。これだと胃潰瘍の治癒痕がある人は毎回胃カメラでの精密検査を要求される。最初からカメラ検診の選択は。

【健康福祉課長】 須高地区医師会では7月からこの選択制を採用している。中高医師会でもカメラ選択を検討中。

胃のピロリ菌検査は

【質問】 胃がん患者の99%はピロリ菌感染者である。ピロリ菌は胃酸が弱い幼児期に感染する確率が高い。中学生ごろピロリ菌検査を実施し、除菌すれば、がん発症の確率が下がると考えられるが。

【町長】 ピロリ菌対策は有効だと思う。どのように検診



ためてお得な健康ポイント

に入れるか、チラシ広報だけでよいかを検討したい。

健康ポイント事業の狙いは

【健康福祉課長】 国は保険者努力支援制度を創設した。町は町民の各種検診の受診率の向上と積極的な健康づくり支援のために健康ポイント事業を始めた。

【質問】 健康ポイントは100点止まり、検診の結果数値が

改善したらポイントが付くなど検診の受診以外のポイント付与拡充は。

【健康福祉課長】 健康相談を受けるポイントが付くが項目の改善には付かない。

総合ポイント制の導入を

【質問】 健康ポイントも良いが、検診のほか、町が開催するセミナーや講座、ボランティア活動に参加した場

合にもポイントが付く総合ポイント制に拡充はどうか。

【町長】 どこにどんな内容の事例があるかを調査したい。

通学路の安全点検は

【教育次長】 地元、建設事務所、学校、PTAなどで点検を行っている。

【質問】 子どもは入っていないのか。

【教育次長】 いない。

【質問】 子どもの目線から危険箇所をみる必要があり、点検に子どもを加えるべき。通学路の危険箇所を示したマップ作りは。

【教育次長】 西小はESD教育の一環で作っていた。

【質問】 各学校にも危険箇所を把握するために通学路のマップ作り推進を。

【教育次長】 提案は学校に伝えたい。

防災教育の理念は

【教育次長】 子どもたちが安全に生活できるように、何かあったらどう行動すべきか、対応できるように教育すること。

ため池の浸水予想図記載は

【質問】 地震、豪雨のため池が決壊し、犠牲者が出ている。町の防災マップへの浸水予想図記載は。

【危機管理室長】 決壊によりどれだけの影響があるかを推測して記載するかどうかを決めたい。

その他の質問

- 保育園・学校の高温対策
- 通学路の危険箇所の対応
- 介護予防とウォーキング
- エンディングノート作成

「若者定住促進対策」の手応えは

総務課長―補助金制度により転出抑制の効果はあった



ふせやひろみ
布施谷 裕泉

※1 関係人口：定住人口や交流人口ではなく地域に関わってくれる地域外の人

※2 ふるさと住民票：住民登録をしていなくても関心がある人を「住民」と認め、一定のサービスを提供するもの

※3 環境保全型農業直接支払制度：化学肥料、農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の助成

人口減少が避けられないなら、そこを踏まえた町の将来像を示すのはまさに今。ポイントは町民の「幸せ感」。

布施谷裕泉のつぶやき

「空き家活用改修等補助金」の適用拡大を

質問 「空き家活用改修等事業補助金」の適用対象が移住希望者のみとなっている理由は。

総務課長 町内在住者であれば親と同居かアパート住まいが多い。空き家については移住者を中心に考えている。

質問 確かにこれまでは同居が大勢を占めていた。しかし今は核家族化が進み、状況が変わってきている。あわせて、町内業者によれば住宅の空き物件が不足し

ているとのこと。定住促進対策として在住者に適用を広げる意味は大きく、また

増える空き家の有効活用にもつながる。
総務課長 町内でも親と子



鳥取県日野町の「ふるさと住民票」募集パンフレット
3・11で被害にあった福島県飯館村が東北では最初に導入。

が別々に生活するケースが増えてきているのは承知している。空き家に関する補助金の内容を検討したい。

※1 関係人口増に向けた取り組みを

質問 ふるさと納税の寄附者は関係人口増に向けた絶好の機会。広報を届けるなど、その後のつながりは。

総務課長 寄附だけということでは、名前の掲載すら遠慮する場合もあり、その後の対応はしていない。しかし今後に向けては要望を精査し関わりを持っていただくよう検討したい。

質問 取り組みのひとつとして「ふるさと住民票」を制度として取り入れる自治体が増えてきている。当町ではいかがか。

総務課長 寄附を頂いた方の中には、より関係を深めたいと考える方もいると思う。確認しながら取り組みを進めたい。

中山間地振興策について

質問 具体的な施策は。
総務課長 集落営農組織の支援や6次産業化に向けた取り組み支援など。

質問 「日本型直接支払制

度」が27年度に施行されているが、構成のひとつに「環境保全型農業直接支払制度」があり、減農薬など環境に優しい農業の取り組みを進めている。

地域が戦略的にこの環境保全型農業に取り組む場合の町の支援体制は。

農林課長 個別の内容だとすれば、あらためて相談させていただきたい。

その他の質問

○職員提案制度について
○教育および保育環境の改善・拡充に向けて

○学校給食費「公会計」移行について

議会全員協議会

第11回（8月9日）

- (1)議会からの提出案件
- ①信濃町議会との意見交換会・交流会
 - ②議会活性化進捗状況
 - ③議会報告会および管外視察の日程
 - ④今後の日程などの確認

第12回（8月21日）

- (1)議会からの提出案件
- ①議会活性化について

第13回（9月3日）

- (1)執行機関からの提出案件
- ①29年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率など
 - ②第6次山ノ内町行政改革大綱実施計画
 - ③奥志賀高原地区の賃借料および地上権地代の改定
 - ④損害賠償請求事件
 - ⑤保育園および小中学校のエアコン設置に係る取り組み状況

第14回（9月6日）

- (1)議会からの提出案件
- ①審議会など
(国保運営協議会)

第15回（9月21日）

- (1)執行機関からの提出案件
- ①損害賠償請求事件
- (2)議会からの提出案件
- ①県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会の議題提出

第11回（平成29年度）議会報告会風景



平成31年統一地方選挙が予定されているため、議会報告会は11月から12月初旬にかけて開催する予定です。

第12回議会報告会 開催のお知らせ

第12回山ノ内町議会報告会予定

開催地区	東部上	東部下	南部	北部	西部
開催会場	和合会館	文化センター	ほなみふれあいセンター	北部公民館	よませふれあいセンター
開催日	11月7日(水)	11月14日(水)	11月17日(土)	11月18日(日)	12月1日(土)
開始時間	19:00	19:00	19:00	15:00	17:30

大勢の方のご参加をお待ちしています。

11	日	月	火	水	木	金	土
				⑦	8	9	10
	4	5	6	⑦	8	9	10
	11	12	13	⑭	15	16	⑰
	⑱	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

12	日	月	火	水	木	金	土
							①
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

みなさんからの請願・陳情

9月議会では下表の陳情を審査・審議しました。

受理番号	件名	陳情者	採決結果
第4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情。	陳情者 中高地区労働組合連合会 議長 畔上稔男	採 択 (意見書送付)

陳情第4号
委員会審査報告

(採択)

同様の陳情は何度も出ており28年6月議会で採択されている。最低賃金は徐々に上昇している状況と認識しているが、地方や中小企業に対する支援策、増加する非正規労働者が現実の問題として存在する以上、陳情の趣旨である、最低賃金の改善、中小企業支援の拡充が必要と判断した。結果、委員会では全員の賛成で採択した。

意見書提出

発委第1号

○地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出
(全会一致で可決)

受理番号	件名	陳情者	採決結果
第5号	国の責任による30人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	陳情者 山ノ内町教職員組合 代表者 菅原勇介	趣旨採択 (意見書なし) 反対者4名

陳情第5号
委員会審査報告

(趣旨採択)

本陳情は長年にわたり何度も提出されてきている。国は2011年に35人学級を決定しながら、実現しているのは小学校1年生のみである。長野県は2013年に小・中全学年を上限35人とする30人規模学級を実施している。審査では県が進める35人学級に基準を合わせるべきという意見も出た。また、行き届いた教育実現のための少人数教育の必要性は認めるが実現性に無理があると判断するに至った。願意は妥当だが実現する確信が持てないと判断し、委員会では全会一致で趣旨採択と決定した。意見書は賛成多数で提出しないことに決定した。

趣旨採択に対し

反対討論

渡辺 正男

この陳情について議会ははずっと採択し、意見書を送り続けてきた。昨年も「30人学級」の文言を「35人学級」と修正はしたが、意見書を提出している。今回の「趣旨採択、意見書提出せず」の決定は納得できない。議会が採択した陳情には、その実現に政治的・道義的責任を負っている。機関意思決定をコロコロ変えるようでは、住民からの信頼は失墜する。採択の上で意見書を送付すべき。

賛成討論

湯本 晴彦

県は既に国の基準よりも学級定員を引き下げ、小中学校で、35人学級に定めて、運営している。昨今増えてきている多様な子供たちへのきめ細かな対応など、陳情目的は理解できるが、まず県が方針を国に出すべきで、町として意見をつける必要はない。また、町でも適正規模適正配置等、まだ方針が固まっていない今、何人学級が良いか明言せず、ここでは趣旨採択のみで、意見書提出も控えるべき。

受理番号	件名	陳情者	採決結果
第6号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求め陳情書	陳情者 山ノ内町教職員組合 代表者 菅原勇介	趣旨採択 (意見書なし) 反対者2名

陳情第6号
委員会
審査報告

(趣旨採択)

本陳情は昨年、一昨年と継続審査とした上で採択した経緯がある。2006年、小泉政権時代における三位一体改革の中で義務教育費国庫負担割合2分の1から3分の1に引き下げられた。義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充は必要であり、国の負担割合を2分の1に戻すことは実現性に確信が持てないと判断した結果、委員会では全員一致で趣旨採択とし意見書も提出しないことに決定した。

趣旨採択に対し

反対討論

渡辺 正男

小泉政権時代の三位一体改革の中で、地方6団体が義務教育費の税源移譲を求めた結果、国庫負担比率2分の1から3分の1になり、その分、地方交付税に振り分けられた、という経過がある。これを踏まえ、これまで採択の上で、数字の部分を削除して意見書を提出してきた。これが当議会の機関意思。「趣旨採択、意見書提出せず」には賛同できない。これまで同様採択の上で意見書を提出すべき。

賛成討論

湯本 晴彦

義務教育費国庫負担制度を2分の1から3分の1に引き下げ、その分交付税措置となったが、義務教育への十分な予算配分が不透明になる等が懸念される。財政規模を堅持すべきという方向性は賛同できるが、そもそもこの地方への自由裁量を増やし、地域に則した教育予算の配分を求めたのは、町村議長会も含まれる全国6団体。6団体の主張に矛盾するの、趣旨採択のみに賛同する。

番号	件名	採決結果
発議第1号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出	賛成6反対6 同数のため議長裁決により可決

意見書提出動議

(渡辺正男議員提案)

発議第1号

○国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出

反対討論

小林 克彦

国・文科省は、児童および生徒の学級編制の基準を4人と定めているが、他府県等に弾力的な学級編成を既に認めており、長野県は35人基準の編成を実施している。全国42道府県も国基準を下回る少人数の学級編制を設定し実施中。また国は少人数編成に伴う教員経費の約7割を負担している。提出先は県・県教育委員会が適切である。因に求める意見は少子化著しい当町に効果は少ない。

提案説明

35人学級を国の責任で推進することを求める内容である。

昨年も同様の陳情に対して、採択すべきものとして、意見書の提出を行っている。議会の意思決定は継続性が必要である。

賛成討論

高田 佳久

長野県では平成25年度から35人学級を中学3年生まで拡大し、小中学校全体で35人学級としています。昨年度も同様の陳情に対して、議会では採択すべきものとし、意見書の提出を行っています。

意思決定機関における意見書提出の継続性および独自の35人学級推進に関しては早期に法改正が必要であり、関係行政庁への意見書の提出は妥当と考え賛成します。

町債発行総額21年ぶりに10億円超

単年度収支は1億630万円の黒字に転換

29年度8会計決算を認定

29年度一般会計ほか7会計の歳入歳出決算は予算決算審査委員会（委員長Ⅱ高田佳久、副委員長Ⅱ高山祐一）に審査を付託しました。

委員会は議長および監査委員を除く11人で構成され、4日間にわたる慎重審査の結果、8会計全てを認定すべきものと決定し、意見を付した上で最終日の本会議に提出しました。

本会議では、質疑・討論・採決が行われ、一般会計は賛成多数（賛成11人）、その他7会計は全会一致で認定しました。



放課後の児童にとってより良い支援体制が望まれる

部会意見

一般会計

《共通》

○業務量の増加にともなう機能低下を防ぐため、議会事務局の増員をはかること。

《総務費》

○将来を見据えて多様なニーズに対応できる新たな地域交通システムの構築に取り組むこと。

○移住定住促進にはターゲットを絞ってメニューを提供し、フォローアップにつとめること。

《農林水産業費》

○新規就農者の受け入れ体制（作業環境等）を充実すること。

《商工費》

○志賀高原ユネスコエコパークのブランド力向上をはかること。

《土木費》

○空き家等対策計画策定には町の実態に則した実効性のあるものにする。○河川の砂防対策は景観も含め、県などと連携し計画的に推進すること。

《消防費》

○将来を見据えた消防団組織のあり方を検討すること。

《民生費》

○信州型自然保育の取り組みにむけて、積極的に検討すること。

○放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的運営にむけて取り組むこと。

《教育費》

○中学校長寿命化改修工事においては、生徒の学習環境が損なわれないように引き続き配慮すること。

○放課後子供教室の実施にむけ、放課後児童クラブとの連携を含めて取り組むこと。

○志賀高原ロマン美術館の根本的なあり方を検討すること。

特別会計等

《有線放送電話事業 特別会計》

○有線放送電話事業の終了に向けて万全を期すること。

《国民健康保険特別会計》

○健全な財政運営のため基金の運用規程を設けること。

《水道事業会計》

○東部浄水場更新計画の策定には万全を期すこと。

一般会計

反対討論

渡辺 正男

新規事業の年長児保育料無料化は、年1000万円規模の子育て支援拡充策として評価する。好評だった住宅リフォーム助成事業が廃止されたままであること、スポーツ推進計画が策定されたが、懸案の社会体育館の具体的方向性が未だ示されないままであることは問題。公共施設や教育環境のあり方を見据えて今出すべき結論を先送りしていることで、結果的に町民の不安や不信を招いている。

賛成討論

湯本 晴彦

「産業・暮らし・子育て充実予算」と銘打って執行された29年度予算は、公共施設の老朽化問題などが山積している昨今、普通建設事業で対前年30%以上増やした。大型の設備投資を控える風潮の中、積極的な執行をしたと思う。さらに、厳しい財政運営の中、民生費はほぼ前年同額、農林水産業費と商工費は昨年度より増加させるといふまさに「産業・暮らし・子育て充実予算」であったと評価する。

総括意見

予算決算審査委員会 委員長 高田 佳久

29年度一般会計決算規模は、歳入70億4966万円（対前年度16%増）、歳出66億8982万円（0.1%増）で、翌年度へ繰越すべき財源を差引いた額（実質収支）は3億4761万円となり、前年度の実質収支を差引いた額（単年度収支）は1億630万円のプラスとなることから、前年度の赤字から黒字に転じた。また財政の健全化判断比率では、一般会計と有線放送電話事業特別会計を対象とした実質赤字比率、全会計を対象とした連結赤字比率はともに実質赤字となり、実質公債費比率、将来負担比率はともに減少傾向にあり、財政の健全化がはかられている。

歳入では、防災行政無線デジタル化、南部浄水場更新、志賀高原総合会館98改修、給食センター

改修、志賀高原保育園大規模改修など大型事業による町債の大幅な増加とふるさと基金および観光施設整備等基金の繰入金が増加している。増加傾向にある町債残高の圧縮につとめられたい。

「産業・暮らし・子育て充実予算」として執行

されたうち産業分野では、観光施設整備として国立公園整備事業を実施したが、志賀高原ユネスコエコパークの活用とともに観光資源を活かした誘客につとめられたい。またブドウ棚設置補助として産地パワーアップ事業を展開しているので、今後の販売額の増加に期待する。

「産業・暮らし・子育て充実予算」として執行



29年度改修工事が行われた志賀高原総合会館98
公共施設の改修・更新・撤去工事が今後も後を絶たない

暮らしの分野では、空き家等対策計画を策定中だが、早急な対策を実施されたい。また田舎暮らし体験住宅の整備、移住定住支援員の設置、田舎暮らし体験ツアーの実施など積極的な取り組みは評価したい。今後も人口増にむけ、さらなる努力を期待する。

「産業・暮らし・子育て充実予算」として執行

後期基本計画に掲げられている人口減少への対応と地域産業の活性化に焦点を当てたイノベーション戦略プランの着実な前進とともに、事務事業のさらなる「選択と集中」をはかり、将来の地域づくりにむけても中長期的な展望に立った行財政経営をおこなうことが必要である。

「産業・暮らし・子育て充実予算」として執行

国民健康保険特別会計 賛成討論

渡辺 正男

保険給付費は、9億9133万円と当初予算に対し1億6813万円もの大幅減。10億円を下回るのは17年ぶりのこと。基金積立は1億675万円になり、基金残高は2億6907万円に膨らんだ。保険給付費の過大見込みの結果だ。徹底的な分析が求められる。負担軽減のための法定外繰り入れ5000万円の約束を守った点と、3月議会時点で補正予算を初めて議会に示した点は評価する。

介護保険特別会計 賛成討論

渡辺 正男

基金取り崩しを1570万円見込んだが、結果は逆に積立2971万円。基金残高は2億2582万円となった。基金残高については、第6期27・29年度の3年間で8000万円以上を取り崩し、約3000万円になるはずだった。計画に対し実に2億円近い差異だ。この基金残高は、すべて第1号被保険者の保険料の過大徴収分にほかならない。保険料設定のあり方自体、見直す必要がある。

監査意見

平成29年度一般会計及び特別会計決算監査意見

《監査の総括意見(抜粋)》

町の基幹産業である観光産業は、スノーモンキー人気や信州デザインেশョーンキャンペーンなどにより回復傾向にあるが、観光客のニーズの多様化等により依然として厳しい状況にある。大きく変わる時代に対応すべく、情報・需要を把握し、官民一体となって観光振興に強力に取り組むことが望まれる。

一方、農業においては、農業従事者の高齢化が進む中、後継者の確保・新規就農者の増に繋がる施策が急務である。また、農業振興会議による各地区の計画を確実に実行することが必要である。

平成29年度の歳出は、防災無線デジタル化、志賀高原総合会館98改修、給食センター、旧北小学校体育館改修、橋梁・庁舎など公共

《個別意見》

1. 補助金支出団体に対しては、継続的に効果の検証をされたい。
2. 各施設・備品等の安全確保のため、定期的に点検をされたい。
3. 税・料金等の滞納は、関係課で連携し多額になる前に対応されたい。
4. 特定の職場・職員の業務が過大とならないよう適正な人事配置をされたらいい。
5. 楽ちんバスについては、実証運行状況を踏まえ、安全な運行に留意されたい。
6. 職員研修については、全員が参加できるよう配慮されたい。
7. 防災マップは、内容について町民に周知徹底されたい。
8. 基金は、安全かつ適正な運用に努められたい。
9. 防犯灯の設置及び改修は、地域の安全確保のためさらなる推進を図られたい。
10. どんぐりの森公園については、貴重な資源を生かし、農林・観光の連携をとり、計画的に整備されたい。
11. やまびこ広場の改修については、各世代に対応できるよう整備されたい。
12. 道路の状況を常時把握し、事故の防止に努められたい。
13. 空き家対策は、課題を一つずつ整理し進められたい。
14. 教育振興基本計画・スポーツ推進計画については、毎年度進捗管理を行い、効果的に推進されたい。
15. 志賀高原ロマン美術館周辺の美観対策については、関係者と協力して進められたい。
16. 介護保険料は、65歳の切替時に納め忘れが多いので周知徹底されたい。

施設の機能維持や長寿命化に係る経費が主となっており、その傾向が続くものとみられる。公共施設等総合管理計画に基づき確実に実施することが重要である。

多岐にわたる住民要望に対処するための財政状況を主な指標で見ると、財政構造の弾力性を判断する指標として用いられる経常収支比率は78・4%で前年度に比べ0.7ポイント下回り、財政力を判断する指標である財政力指数は0・443で前年度から0・004下回った。

厳しい環境の中だったが、収納率がアップし、収入額は前年度を上回った。町内二大産業の振興に繋がる施策を展開すること併せ、さらなる収納率の向上に努められたい。



五色桜咲き誇るどんぐりの森公園

平成29年度水道事業会計決算監査意見

《監査意見》

- ア 水道使用料の収納率は、現年・過年度ともに下がっており、向上のためさらに徹底した取り組みをされたい。
- イ アセットマネジメント経営戦略に基づき、中長期的な視点に立ち、健全経営を図るとともに効果的かつ効果的に施設等を
- ウ 水道管網図の整備事業は、速やかに進められたい。また、誤謬(ごみご)夕更新時等)を防止するため細心の注意をされたらいい。
- エ 営業費用のさらなる削減に努められたい。将来に備えて、水道事業の民営化、広域化等について研究されたい。

みんなのひろば

ゴールデンウィークの

桜の名所に

「寒沢桜の郷」 卯山袖山活性化組合

今回は、今年のゴールデンウィークに「寒沢桜の郷」で組合設立20周年の「寒沢桜まつり」を開催された卯山袖山活性化組合の生玉静雄組合長にお話を伺いました。

なお、桜まつりの呼び物チェーンソーアートは「広報やまのうち」5月号の表紙を飾りました。



15周年の参加者とチェーンソーアート作品

花見になぜチェーンソーアート

5年前にも行ったが、人里離れたこの地ではチェーンソーの小気味よいエンジン音がにぎやかで、おまつり気分を盛り上げてくれる。講師も森林組合を通して正式に依頼すると予算的に厳しいので、直接交渉をお願いした。今年は事前のPRが行き届かず、前回より参加者が少なかったのは残念。

組合設立の経緯は

平成10年頃、町農林課が遊休荒廃農地対策で花のほかに「葉っぱ」利用も期待できる、桜の苗木の現物支給事業を行った。この区域は有害獣被害で荒廃農地が多く、しかも「道の駅」からよく見えることから桜の名所にしようとして8戸の地主に呼びかけ組合を設立し、畑と畑の境に桜を植えたのが始まり。現在は、地主以外の3戸が加入して11戸になった。

しだれ桜が400本

最初は現物支給の桜や「ソメイヨシノ」も植えた

が、咲く時期を考え「紅しだれ八重」を農地にも植えてきた。設立してから5年間は毎年植樹祭を開催、これまでに植えた本数は約2haの面積に400本以上になる。桜は例年5月の連休頃に満開になる。この時期は夜間瀬川堤防の桜が散った後で、ゴールデンウィークの花見スポットになっている。

密植に思えるが

初めから間隔を開けて植えると、間に草が繁茂し草刈りが大変になるので、ある程度密植にし、時期を見て間伐する考えで植えてきた。植えて5年後には花見ができた。

花見のベストコースは

今年には外国人観光客がバスで「寒沢の火の見」まで来て、そこから5分歩いて「桜の郷」で花見をして下り、県道でバスに乗るコースで5回ほど来訪した。軽自動車だと上から一方通行で一周できる。



前列右が生玉組合長

例年の活動は

当初は毎年の「桜まつり」には「金魚すくい」「流しそつめん」などを行っていたが、15周年から、イベントは5年に1回に減らした。通常の年は、案内看板設置、発電機での夜のライトアップを行い、桜を楽しんでいたただけのようにしている。また、夏の草刈りも重要な活動だ。

今後は露店を募集

今後、土地を提供してもらえれば桜をもう少し下まで広げ、木が大きくなってきたので間伐して全体を整えたい。また、花見シーズンに露店を出していただける方を募集したい。

編集後記

東京での全国町村議会広報研修会に参加しました。今回の研修は衝撃でした。読みやすく分かりやすい文章、見やすい誌面づくりに心がけてきたつもりでしたが、不十分でした。文字による「言語表現」に対し、写真や図版などのビジュアルによる「非言語表現」。



左と右は同じ内容ですが、右は非言語表現(地図、カレンダー、アイコンなど)多めです(研修会資料「筒井美希氏作成」)。

今後は「もっと伝わる」議会だよりを目指します。

(渡辺正男)

こどもチェック
(町議会ホーム
ページ)

